



# 夢咲楽

## ～ 和輪話通信 ～



目次	■ 田植え体験を実施しました! ..... 1	■ ICT教育はなぜ必要か? ..... 3
	■ 「体験すること」の大切さ ..... 2	■ 「あいさつ」をしましょう! 他 ..... 4

### 田植え体験を実施しました!

令和3年5月15日にさくら市青少年センター全体活動として、柿木澤地内の圃場にて田植え体験を行いました。さくら未来塾塾生の小学1～6年生約70名が参加し、泥まみれになりながら、それぞれが苗を植えることができました。



▲野州田植唄保存会による「田植唄」



▲講師の川崎利夫さん



ただいま、おかえりって言いあえるまちに  
みんなで広げよう  
シトラスリボンプロジェクト  
INとちぎ  
わたしたちは  
シトラスリボンINとちぎ  
に参加しています



# 『体験すること』の大切さ～地域での活動をとおして～

青少年センターでは田植え体験をはじめ、さまざまな体験活動を実施しています。それは、地域での体験活動やさまざまな人との出会いが、子どもたちの健やかな成長に大きく関わっていると考えているからです。

## 【体験による学び】

体験の際、はじめて泥に足を入れた子どもたちは「うわ、深い!」「歩けない!」「泥ってあったかい」など様々な声を上げていました。このような五感を直接使う体験は、子どもたちの「想像力」や「表現力」を育てると言われています。

また、子どもたちの様子を見てみると、「なぜ?」「どうして?」という疑問がたくさん湧いていることに気づきます。子どもたちはそれを自分なりに考えたり、他の人に聞いたりしながら実践してみます。成功したり、失敗したりの繰り返しですが、子どもたちの「探求心」や「考える力」を育て、子どもたちの「自信」や「自己肯定感」につながります。

足が抜けない!  
どうやって歩くの?

植えられた!  
よしもう一回!



## 【地域から得る学び】

地域との関わりがあることは、子どもたちにとって大切なことです。特に「地域の大人」と関わることは、子どもたちが将来の姿をイメージすることや、展望を抱きかけになります。地域の大人との関わりによって、子どもたちは自分も「社会の一員」という自覚を持ちます。

また、地域にはそれぞれの生活の工夫や知恵があり、それを肌で感じることで、子どもたちが地域に愛着を持ち、地域やそこに暮らす住民とのつながりを深くします。さらに、地域の大人と顔見知りになり、見守られる

ことで、子どもたちは安心して生活することができるようになります。

地域の大人は、子どもたちを見守り、学びの機会や知識を伝えたりしながら、成長を手助けできる存在です。子どもたちの未来のために何をすべきか考えることも、大人の役割ではないでしょうか。



#### ICT (Information and Communication Technology) って？

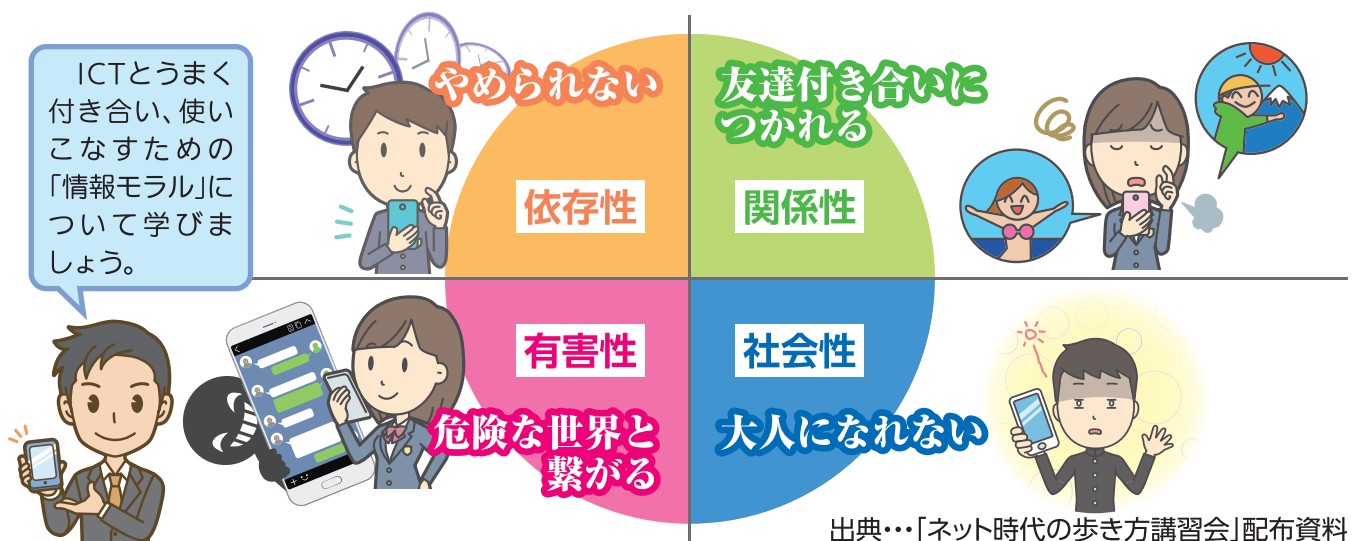
「情報通信技術」のことで、スマホやタブレット、パソコンの総称です。日常生活だけでなく、企業や学校でも活発に利用されています。ICTを活用することで、広く情報収集ができたり、SNSで新しい交流ができたり、音楽や動画、ゲームなどの楽しみが広がります。

一方でICTは、「情報モラル」についての基盤が整っていないと、様々な問題を引き起こしてしまうこともあります。

学校では授業で共通の画像を見ることができ、効率的でわかりやすい授業が可能に！自宅で授業を受けることもできます！



#### ICT利用にひそむ問題



出典・・・「ネット時代の歩き方講習会」配布資料

#### 【ICT社会で生きていくために】

##### \* 正しい判断ができるように「考える習慣」をつけよう

ネットの世界には情報が多く、どれも正しく見えてきます。多くの情報に惑わされなくなるためには、普段の生活の中でも物事に疑問を持ったり、深く考える癖をつけることが必要です。「どうしてだろう？」「本当にそうかな？」という疑問を持ち、自分なりの意見を説明できるようになりましょう。それが「考える習慣」を身に着けることにつながります。

##### \* 家族内でみんなが納得できるルールや約束を決めよう

ネットの利用について家族内でルールを決めるときには、家族がお互いに納得できるルールを決めましょう。また、自分の課金の金額、ネット内の友達、使っているアプリなど、正直に話せる範囲で利用しましょう。家族に正直に話せないようなら、それは「やりすぎ」です。

#### 「ネット時代の歩き方」講習会

さくら市内の学校では講習会の開催など、児童生徒の皆さんとその保護者がICTについて学ぶことができます。インターネット利用の課題と子ども達の目指すべき将来像を示し、参加する親子がそれぞれの立場からインターネットについて考える手助けになれば良いと思います。



# 「あいさつ」をしましょう！

青少年センターでは奇数月の第一水曜日に各小中高校で「あいさつ巡回活動」を実施しています。

「あいさつ」にはたくさんのいいことがあります！

- \* お互いの印象を良くしたり、人間関係を良好にする
- \* コミュニケーションのきっかけになる
- \* 自分と相手の緊張をほぐすことができる など

みなさんも1日を **笑顔で** **明るく** **元気** な  
あいさつから始めましょう！



## サポーターを募集しています！

### 【少年育成サポーター】

青少年健全育成に関心のある方、さくら市の子どもたちのために活動をしたいという方などを募集しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

(必要条件等があります。)



### 【さくら未来塾 体験サポーター】

さくら未来塾 体験コースは第2・4土曜日に開校している小学生向けの体験活動です。小学生と一緒に活動に参加し、サポートしてくれる体験サポーターを募集しています。



お問い合わせ さくら市生涯学習課 ☎028-686-6621

### 会長より 一言

子どもたちとの関わりの中で大人が「昔は〇〇だったんだ」という話をしている光景を目にすることがあります。折角、大人が子どもに知識を伝えたいと思っても、体験したことのない「昔」の話を子どもたちが理解するのは難しいでしょう。しかし、様々な大人との関わりや体験があれば、子どもたちは新しい知識や学びと出会う機会を得ることができるのではないのでしょうか。

わわわ隊 飯島 満

### 「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年育成サポーターのみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。



とちぎの元気な子ども育て隊!!

～とちぎの子ども育成憲章 マスコットキャラクター～

7月は青少年の非行・被害  
防止全国強調月間です。

### ■広報啓発班・ICT研究班

飯島 満 ・ 大河原 千晶 ・ 岡村 浩雅 ・ 福田 克之 ・ 村上 佳彦 ・ 森山 京逸

さくら市の  
子どもを  
みんなで育てよう



ゆめさくら わわわつうしん  
夢咲楽～和輪話通信～ 第43号  
発行日 令和3年7月18日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1  
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368  
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp  
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp